# 姫路駅北駅前広場デザインコンセプトの検討

平成21年2月20日

### ■デザインコンセプト検討プロセス

姫路市のまちづくり における都心部の位置づけ **姬路市総合計画** 

特別史跡姫路城跡整備基本構想、姫路市景観計画 等

姫路市都心部まちづくり構想

中心市街地活性化基本計画



上位計画を踏まえた キャスティ21のまちづくりの方向性 まちづくりの基本的な考え方

土地利用の方向性

都市空間形成の考え方



各種団体からの提案(関係団体)

シャレットワークショプ提言(学生)

市民の多様な意見

推進会議意見(関係権利者、交通事業者等)

まちづくりフォーラムアンケート(一般市民)



姫路駅北駅前広場デザインコンセプト

## 第1章

上位計画を踏まえたキャスティ21のまちづくりの方向性

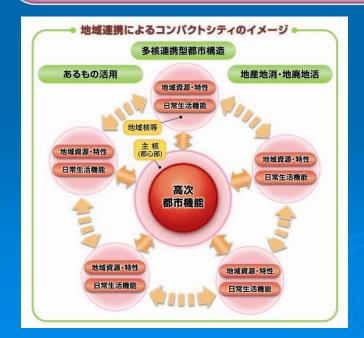
#### ■まちづくりの基本的な考え方(1)

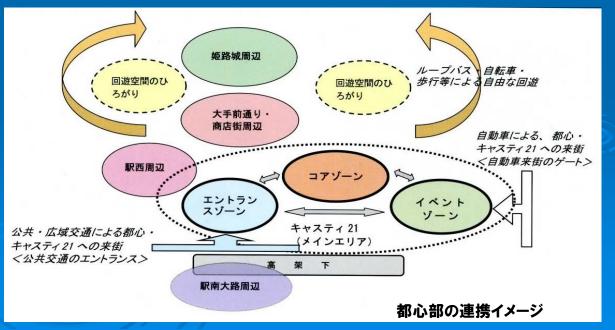
#### 1. 姫路の顔となる新たな都市拠点づくり

- ~播磨の中核都市、テクノポリスの母都市としての輝きを増し、市街地活性化やコンパクトシティの実現に貢献する拠点~
  - ①播磨地域のポテンシャル向上 ⇒ 「高次都市機能の集積」による「消費流出の抑制」と「集客力の強化」
  - ②都心部活性化を先導 ⇒ 「多様な機能集積」と「回遊性の向上」による「都心部全体への活力の波及」
  - ③コンパクトシティの実現への貢献 ⇒ 「都心部の魅力向上」と「交通結節点機能の強化」

#### 2. 来街者をもてなし、時を感じ人が交流する空間づくり

- ~魅力と姫路らしさのあるシンボル空間やもてなし空間の整備により、人々が集い、賑わい、交流するまち~
  - ①姫路の新たな象徴となるシンボル空間の創出 ⇒ 市民が「誇らしく思い」、来街者の「印象に残る」整備
  - ②時を感じ人が交流する空間の創出 ⇒ 来街者を「歓迎」し、「おもてなし」の場として整備
  - ③まちと一体となった心地よい空間の創出 ⇒ 利用者の「滞在環境」と「回遊性」の向上





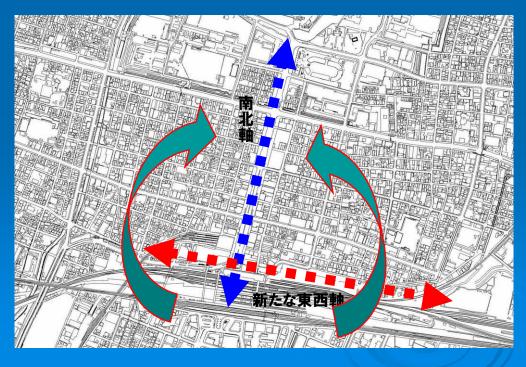
#### ■まちづくりの基本的な考え方(2)

#### 3. 東西方向の新たな景観・環境軸によるうるおいのある「まちなか環境」の創出

- ~ 東西方向に新たな景観・環境軸を創出することにより、 やすらぎやうるおいを感じるまち~
  - ①景観・環境の東西軸の創出 ⇒ 都心の新たな「回遊動線」と「にぎわい動線」を形成
  - ②大規模街区を活かした景観形成 ⇒ 「ゆとり」と「うるおい」のある新たなまちなか環境の形成

#### 4. 官民の連携・協働による、創り・守り・育てるまちづくり

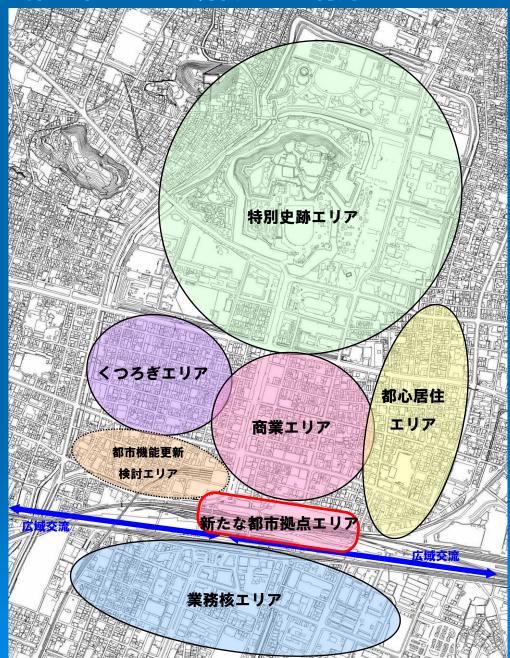
- ~行政と民間事業者、市民等の役割分担により、整備・管理・利用が適切に行われるまち~
  - ①官民協働での魅力ある都市景観の形成 ⇒ 民間事業者との協働による「品格ある都市景観」の形成
  - ②市民による持続的なまちづくり ⇒ 市民との協働による都市空間の「利活用」と「管理運営」





姫路市街路樹アダプト制度

#### ■都心部における現状の土地利用イメージ



#### ■キャスティ21の土地利用の方向性

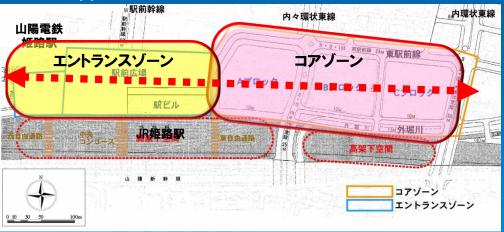
#### エントランスゾーン

- ・交通施設の再編整備による交通結節点機能の強化
- ・姫路市の新たな顔となるシンボル空間の創出
- ・まちの新たな玄関にふさわしいもてなし・交流機能の創出

#### コアゾーン

- ・都心部の集客力強化、にぎわい拠点の創出に向けた、新 たな高次都市機能の導入
- ・新たな東西軸の形成による回遊性と滞在環境の向上

#### ゾーニング図



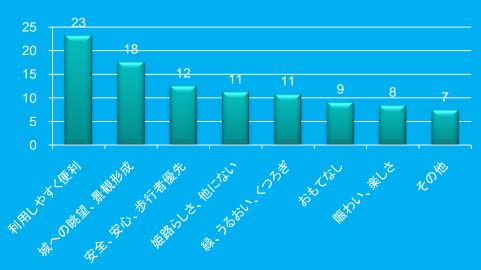
## 第2章

姫路駅北駅前広場計画に対する市民意見の概要

#### ■「高架後の姫路都心部まちづくりフォーラム」アンケート結果

※回答者は106名で、出された意見を分解・分類して分類ごとの比率を算出(単位:%)







- ◆ 利用しやすく便利であることが一番重要で、これに安全、安心、歩 行者優先を加えると、35%が便利で安全が重要だという認識
- ◆ 次は、城への眺望や景観形成、姫路らしさなどで、これらを合わせると29%が城を意識した景観形成が重要だという認識
- ◆ 次は、うるおいやくつろぎ、おもてなし、にぎわいや楽しさなどで、 それぞれ約10%程度が重要だと認識

- ◆ 姫路らしい、個性的な雰囲気にすべきが一番多いが、賑わい やうるおいが感じられる雰囲気というのも約20%程度ある
- ◆ 次は、観光客を意識したもてなしや和風の雰囲気
- ◆ また、安全安心、便利で使いやすいという意見は、誰でもが来 やすい雰囲気の広場にすべきというもの

#### 自由意見

- ◆城を主役に広場はシンプルに親しみのある空間を
- ◆ソーラーシステムなど環境に配慮した最先端なものを
- ◆駅前広場は公園でなく交通結節点であることを原点に
- ◆毎日通勤通学で利用するので遠回りや上下移動が少なく

#### ■各種提案・意見の取りまとめフロー

4つの大項目に集約 7つの小項目に分類・集約 ・フォーラムア ・関係機関からの意見 各種団体からの提案 1. 利用しやすく便利 便利で安全 ークショップ提案・シケート意見 2. 城への眺望、景観形成 姫路らしさ 3. 安全、安心、歩行者優先 4. 姫路らしさ、他にない 推進会議の意見 くつろぎ・うるおい 5. 緑、うるおい、くつろぎ 6. おもてなし にぎわい・楽しさ 7. にぎわい、楽しさ

## ■市民意見の概要

区分	便利で安全	姫路らしさ	くつろぎ・うるおい	にぎわい・楽しさ
各種団体から の提案 (関係団体)	・コンコース正面に広い階段を ・バスターミナル地下に広場を ・全天候デッキで接続(快適な歩行) ・乗換え安全性、利便性 ・交通機能を重視した上で ・公共交通の集約、便利な動線	・城と対峙するシンボルを設置 ・城のさくらとお祭り、木目などを題材に演出 ・城の眺望場所の設置 ・播磨地域の中心 ・日本的な空間	・城開放感あふれ、安心 安全なサンクンガーデン ・大手前通りの壁面線を 制限 ・水や緑、憩いと潤い ・さくら並木と水の広場	<ul><li>お祭り広場</li><li>活力ある商空間</li><li>おもてなし広場</li><li>立体的空間</li></ul>
シャレットワー クショップ提言 (学生)	・安全で便利な交通ジャンクション ・各地区への人の流動 ・歩行空間の連携	・城への眺望 ・城郭構造や濠などの歴史を考慮	<ul><li>・緑の適切配置</li><li>・くつろぎ空間</li><li>・もてなし</li></ul>	・イベント広場・地下街と連携
推進会議意見 (権利者、 交 通事業者等)	<ul><li>・交通機能が第一で人の動線を意識</li><li>・日常の交通機能を犠牲にしてまでシンボル性を追求すべきでない</li><li>・全ての人が使いやすいことが基本</li><li>・周辺市街地への動線</li><li>・デッキは広場機能を持つ回廊に</li></ul>	<ul> <li>・城が眺望できるデッキにしては</li> <li>・城に優るシンボルは考え難いので、対峙ではなく連携や共通性を</li> <li>・駅に向い新駅ビルの西側にシンボルを</li> <li>・テクノポリスの母都市</li> <li>・モニュメント等の設置は慎重に</li> </ul>	<ul><li>・緑は鳥の糞害も考慮</li><li>・周辺施設と一体的な景観形成</li><li>・大手前通りと一体に</li></ul>	・仕掛け作り ・まちの活性化 ・サービスの充実
フォーラムアン ケート (一般市民)	・乗換えが近い、容易 ・安全で繋がりの良い ・利用者が第一、機能性重視が一番 ・動線が判り易い ・歩行者優先、安全安心 ・車に乗れない弱者に便利 ・住む人に便利 ・バリアフリー ・段差のない、全ての層が集える ・普段利用する人が使いやすい ・ゴチャゴチャしない平穏な ・死角を発生させない、明るく安全な ・デザインや修景重視は使い勝手が悪い ・城や商店街の方向が判り易い	<ul> <li>・駅舎をランドマークに</li> <li>・広場の中心に城からのアイストップを</li> <li>・城への眺望は他にない街の顔</li> <li>・駅を出た瞬間の城のインパクト、驚きの演出</li> <li>・オンリーワンの広場</li> <li>・城への門</li> <li>・品格ある</li> <li>・姫路の歴史文化を感じさせる</li> <li>・外見は和風、内側は便利な現代風の</li> <li>・城下町や秋祭りを感じる</li> <li>・モダン(おしゃれな)、和モダン</li> <li>・城下町の雰囲気漂う</li> <li>・日本らしさ(お城、城壁、瓦)</li> <li>・城と調和した、相対する、イメージした</li> <li>・シンプルにさりげなく</li> </ul>	・ゆったり、心地よい、安らぎ、休憩、くつろぎ ・待ち合わせ、滞留 ・アメニティ豊か ・緑、うるおい、季節感 ・自然エネルギー利用 ・清潔、衛生的 ・城のバッファーゾーン ・花と緑の公園に ・憩いの場 ・落ち着ける ・休める広場 ・エコ(グリーン)	・若者が集まる ・活気、 ・活気、 ・海域と ・海域と ・海域と ・海域と ・海域と ・海域の ・海域の ・カル ・カル ・海域の ・カル ・カル ・カル ・カル ・カル ・カル ・カル ・カル ・カル ・カル

## 第3章

キャスティ21の都市空間形成の考え方

#### ■キャスティ21の都市空間形成の考え方

- ◇基本的な方向
  - ~「自然」、「人と人」、「歴史・文化」が共生する質の高い都市空間の形成~

#### ◇空間イメージ

	エントランスゾーン	コアゾーン
自然		新しい東西軸として風や光を感じることができ、 都市 的な水と緑が連続する「涼やかな空間」
LEL	ターミナル機能を基本として、来街者を歓迎し、もて なすことで人と人が交流する「にぎわい空間」	にぎわいや感動の中に上品な華やかさが感じられる。 「品格のある空間」
歷史·文化	世界文化遺産のまち姫路の顔として、市民が誇れ、 来街者の印象に残る「シンボル空間」	姫路の新たな魅力や都市文化を創造し、リードする、 「新しいまちなか空間」

#### ◇デザインイメージ

<u>キャスティ21全体</u>

新たな都市空間にふさわしい「先進性」と、 姫路城を想起させる「和」か融合したデザインを基調とする

#### エントランスゾーン

・白鷺城の凛とした「美しさ」と「風格」が感じられ、来街者を「やさしくもてなす」 デザインとする

#### コアゾーン

・新しいまちなかとして、「にぎわい」の中にも 「品格」と「未来への希望にあふれた」デザイ ンとする

## 第4章

姫路駅北駅前広場デザインコンセプト(案)

#### ■姫路駅北駅前広場デザインコンセストの構成

#### デザインコンセプトとは:

⇒「施設整備を行う際の空間形成や意匠などに関する基本的な考え方」

#### 基本コンセプト:

「広場に期待される機能や将来の目指すべき姿を端的に表すフレーズ」

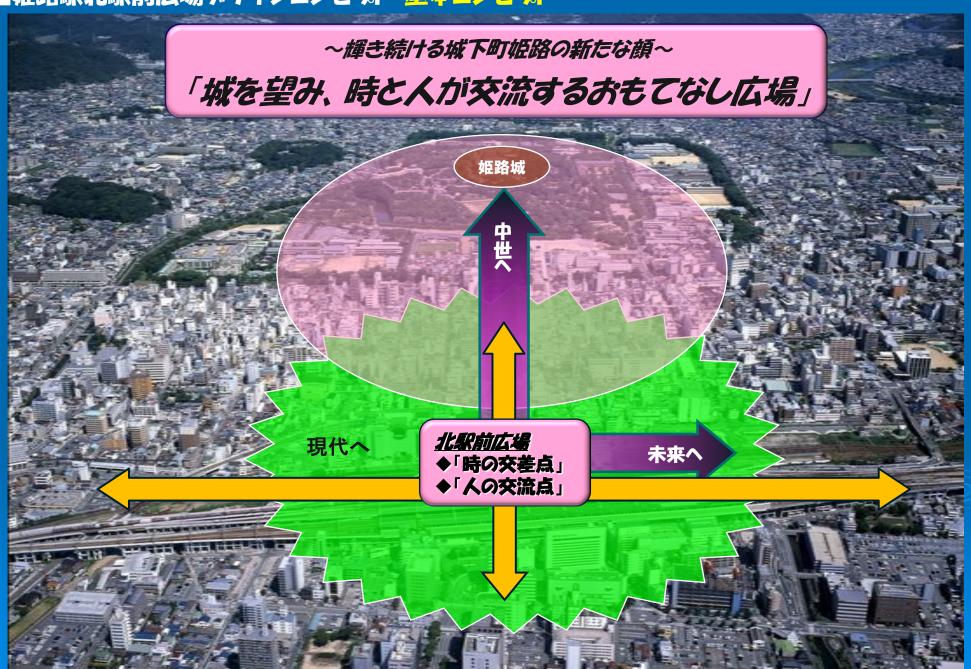
### 空間デザインの考え方:

「広場の空間形成に関する基本的な考え方」

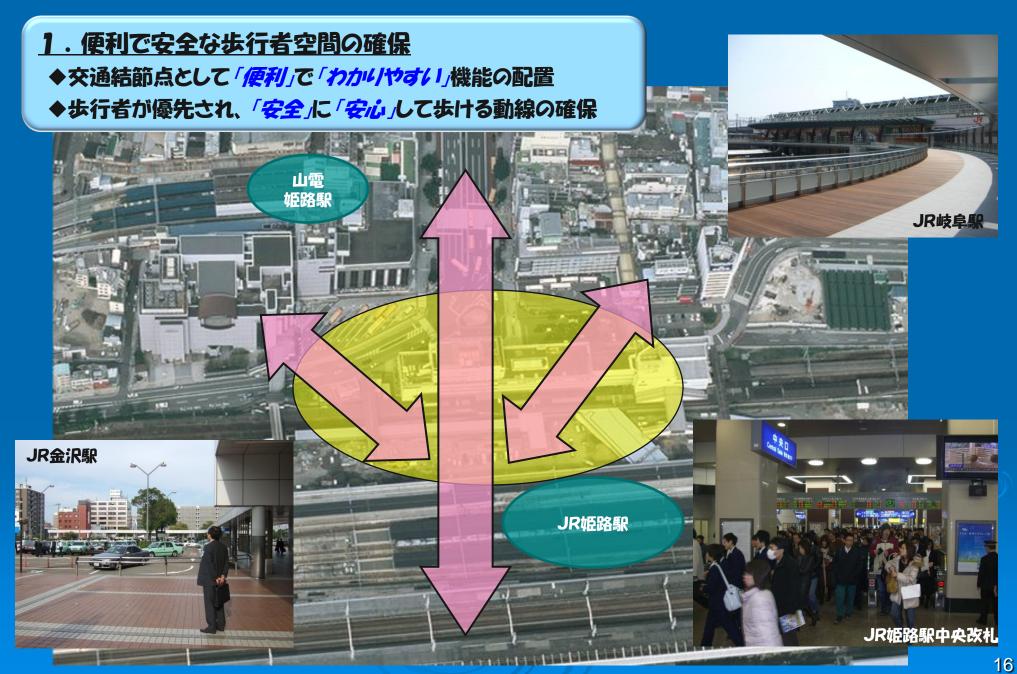
### <u>施設デザインの考え方:</u>

「広場施設の意匠に関する基本的な考え方」

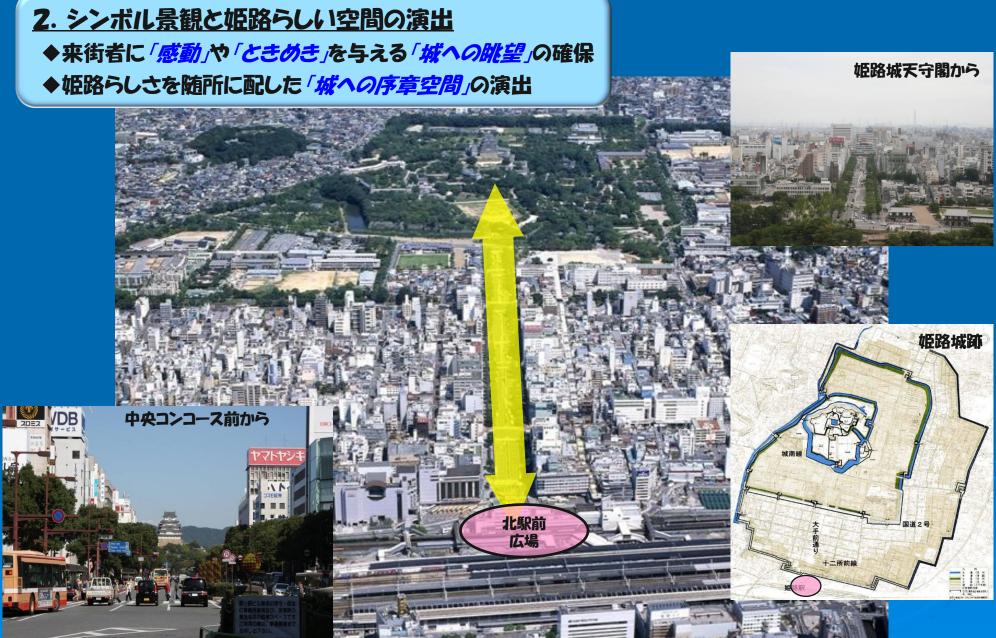
## ■姫路駅北駅前広場デザインコンセプト:<mark>基本コンセプト</mark>



## ■姫路駅北駅前広場デザインコンセプト:空間デザインの考え方(1)



### ■姫路駅北駅前広場デザインコンセプト:空間デザインの考え方(2)



### ■姫路駅北駅前広場デザインコンセプト:空間デザインの考え方(3)

- 3. くつろぎ・にぎわい空間の創出
  - ◆水や緑などを配置し、来街者が憩い、ゆったりとすごせる「<つろぎ空間」の創出
- ◆イベントなど楽しくもてなす仕掛けづくいによい、人が集う「*にぎわい空間」*の創出







### ■姫路駅北駅前広場デザインコンセプト: 施設デザインの考え方

#### 城を感じる優美な現代和風を基調として、

- 1. 姫路の歴史や文化(祭り屋台等)などを題材とした「姫路らしさ」の演出
- 2. 人の心と体や地球環境に「ヤさしん」」素材や技術を活用した景観の演出
- 3. 誰もが使いやすい / ユニバーサルデザイン」を基本とした施設デザイン





名古屋セントラルパーク付近



#### ■姫路駅北駅前広場デザインコンセプト(まとめ)

基本コンセプト

~輝き続ける城下町姫路の新たな顔~

「城を望み、時と人が交流するおもてなし広場」

「先進性」と「和」か融合したデザインを基調として、 白鷺城の「美しさ」と「風格」が感じられ、 来街者を「やさしくもてなす」デザイン

空間デザインの考え方(2)

シンボル景観と姫路らしい空間の演出

空間デザインの考え方(3)

くつろぎ・にぎわい空間の創出

施設デザインの考え方

城を感じる優美な現代和風

空間デザインの考え方(1)

便利で安全な歩行者空 間の確保